令和８年度日米共同統合演習（実動演習）について（ＫＳ２７）

【演習の目的】

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和６０年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で１８回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和８年１０月１９日（月）から１０月２９日（木）までの間（本実施期間の前後 約１週間（基準）で準備期間及び撤収期間を設定）で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。なお、本演習の一部に同志国軍が参加（オブザーバー含む。）します。

令和８年度日米共同統合演習（実動演習）について

水陸両用作戦

空挺作戦

海上作戦

統合防空ミサイル防衛

共同統合対艦戦闘

その他関連する訓練（日本全国各地）

- 情報戦
- 統合後方運用（輸送・補給、衛生等）
- 陸上作戦
  重要施設等防護（基地警備等）
- サイバー攻撃等対処
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信

※　演習前後の期間において、自衛隊の航空機が長崎空港を利用します。

令和８年度日米共同統合演習（実動演習）の長崎県内における訓練について

本演習において長崎県内で実施する訓練は、

① 統合通信訓練
② 統合防空ミサイル防衛（高射部隊等の機動展開訓練）
③ 水陸両用作戦（戦力の空中投射、航空機の離発着）
④ 陸上作戦（対艦戦闘訓練）
⑤ 統合電磁波作戦訓練
⑥ 重要施設等防護（共同／協同基地等警備訓練）

を予定しています。訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

長崎県内で実施を検討している訓練内容
①　統合通信訓練

記載誤り

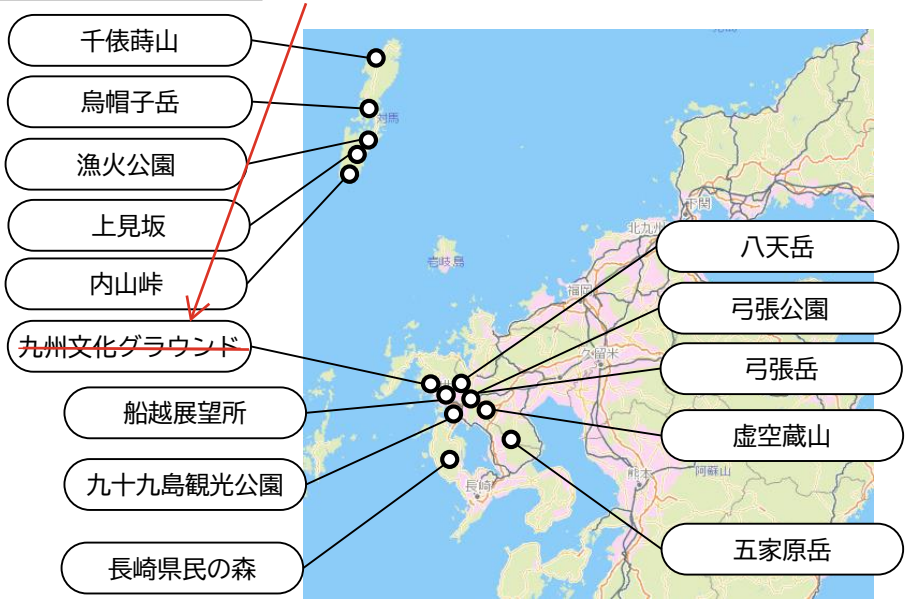
長崎県においては、陸上自衛隊の通信部隊が千俵蒔山、烏帽子岳、漁火公園、上見坂、内山峠、~~九州文化グラウンド、~~船越展望所、九十九島観光公園、長崎県民の森、八天岳、弓張公園、弓張岳、虚空蔵山及び五家原岳に展開し、通信の中継を実施する計画です。

【期　　間】令和８年１０月１９日（月）～１０月２９日（木）通信中継
※　上記の訓練実施前の令和８年１０月１０日（土）～１８日（日）　の間において、電波地誌調査を実施する予定です。
※　訓練期間中、夜間においても通信の中継を実施します。

【参加部隊】陸上自衛隊：約６０名（第４師団）

訓練予定場所

記載誤り



イメージ

通信中継

電波地誌調査

長崎県内で実施を検討している訓練内容
②　統合防空ミサイル防衛（高射部隊等の機動展開訓練）

航空自衛隊の高射部隊が、統合防空ミサイル防衛に係る航空自衛隊の任務遂行能力の向上のため、佐世保基地において機動展開訓練を実施します。

【期　　間】令和８年１０月１９日（月）～１０月２９日（木）（事前に準備期間を設定）
【参加部隊】航空自衛隊：北部航空方面隊 北部高射群 第２３高射隊
【海上自衛隊佐世保基地】人員約６０名、車両約２５両

訓練の一例（イメージ）

機動展開訓練

長崎県内で実施を検討している訓練内容
②　統合防空ミサイル防衛（高射部隊等の機動展開訓練）

航空自衛隊の高射部隊等が、総合防空ミサイル防衛に係る航空自衛隊の任務遂行能力の向上のため、海栗島分屯基地において機動展開訓練を実施します。なお、実弾の使用はありません。

【期　　間】令和８年１０月１９日（月）～１０月２９日（木）（事前に準備期間を設定）
【参加部隊】航空自衛隊：中部航空方面隊　第６航空団（人員約３０名、車両約１５台）

訓練予定場所

※　訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

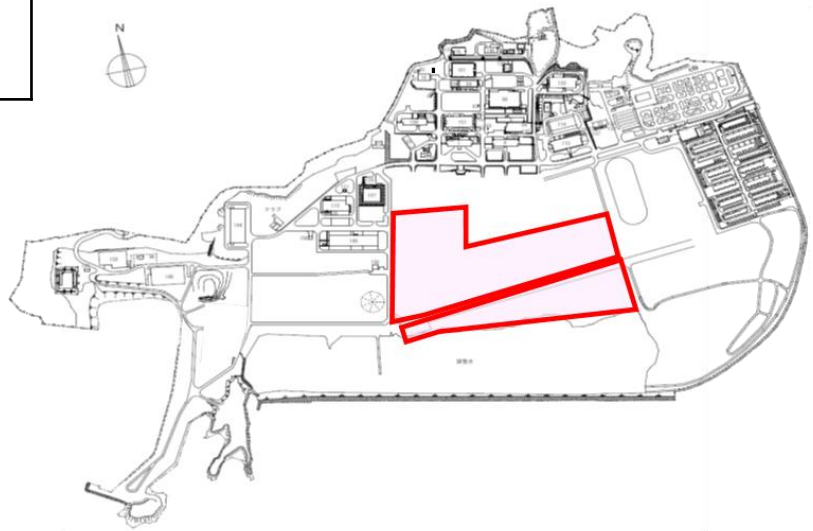
長崎県内で実施を検討している訓練内容
③　水陸両用作戦（戦力の空中投射）

相浦駐屯地において、航空機による戦力の空中投射に係る人員・物資の搭載・卸下訓練、燃料補給訓練等を実施する計画です。

【期　　間】令和８年１０月１９日（月）～１０月２９日（木）　　※前後約１週間程度の準備・撤収期間を設定
【参加部隊】陸上自衛隊：約１００名
西部方面隊回転翼機（ＡＨ－６４Ｄ×２機）
輸送航空隊（Ｖ－２２×１０機、ＣＨ－４７×４機）
※昼間及び夜間（２０００まで）に飛行する可能性があります。
※人数・機数は現時点で計画されているものです。

訓練予定場所

【凡　例】
訓練使用地域



○　飛行可能時間（０８００～２０００）を基本として飛行します。
○　飛行に際しては、可能な限り住宅地の上空を避けて飛行します。

訓練イメージ

航空機への
燃料補給・整備

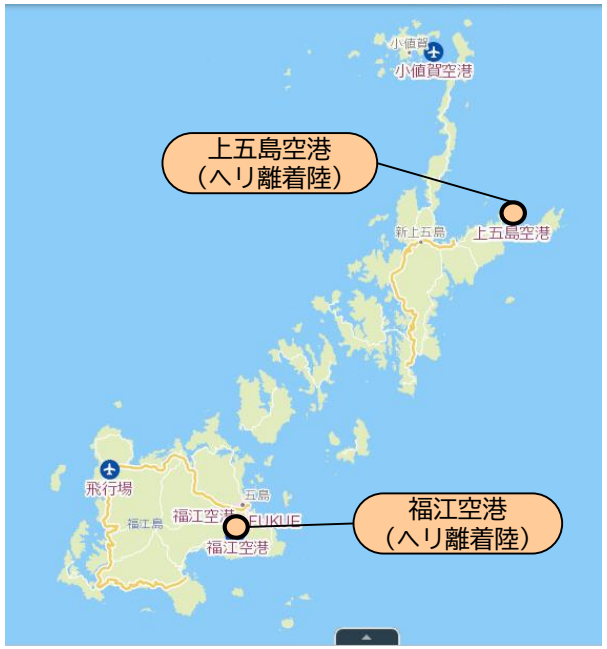
予備戦力の空中投射

長崎県内で実施を検討している訓練内容
③　水陸両用作戦（航空機の離発着）

福江空港及び上五島空港において、九州の自衛隊施設及び九州周辺空域にて実施する各種訓練に用いる航空機の緊急時使用場所として、一時的な駐機、燃料補給、整備等を実施する計画です。

【期　　間】令和８年１０月１９日（月）～１０月２９日（木）　　※前後約１週間程度の準備・撤収期間を設定
【参加部隊】陸上自衛隊：約５０名
西部方面隊回転翼機（ＡＨ－６４Ｄ×２機）
輸送航空隊（Ｖ－２２×１０機、ＣＨ－４７×４機）
※昼間及び夜間（２０００まで）に飛行する可能性があります。
※人数・機数は現時点で計画されているものです。

訓練予定場所



訓練イメージ

航空機への燃料補給・整備

○　飛行可能時間（０８００～２０００）を基本として飛行します。
○　飛行に際しては、可能な限り住宅地の上空を避けて飛行します。

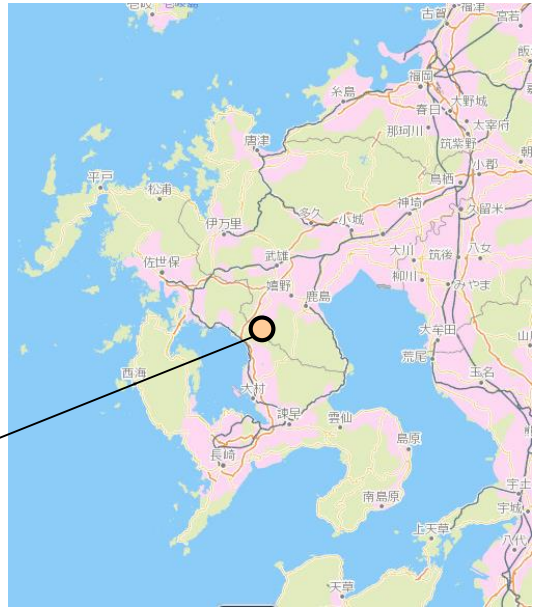
長崎県内で実施を検討している訓練内容
④　陸上作戦（対艦戦闘訓練）

大野原演習場において、陸上自衛隊の部隊が非実射の対艦戦闘訓練を実施する計画です。

【期　　間】令和８年１０月１９日（月）～２９日（木）※　前後約１週間程度の準備・撤収期間を設定
※　夜間訓練を予定しています。

【参加部隊】陸上自衛隊：約１２０名（第２特科団、第４師団、２５式地対艦誘導弾等）

訓練予定場所



訓練イメージ

対艦戦闘訓練（２５式地対艦誘導弾）

長崎県内で実施を計画している訓練内容
⑤　統合電磁波作戦訓練

統合電磁波作戦訓練は、四国沖で実施される共同統合対艦戦闘等に連携して行われます。
本訓練に参加するため、陸上自衛隊の電磁戦部隊が、陸上自衛隊相浦駐屯地において、電波状況の確認等を実施します。なお、本訓練では電波の収集のみであり、実際に電波を輻射する予定はありません。

【期　　間】令和８年１０月２２日（木）～１０月２９日（木）
【参加部隊】陸上自衛隊陸上総隊：約１０名（車両（ＮＥＷＳを含む。）×３両）

訓練予定場所

展開する主要装備品

陸上自衛隊 NEWS※

※ NEWS：Network Electric warfare System（ネットワーク電子戦システム）　電波の収集等を実施

長崎県内で実施を検討している訓練内容
⑥　重要施設等防護（共同／協同基地等警備訓練）

長崎県においては、陸海空自衛隊による協同基地警備訓練及び日米共同による基地警備訓練を実施する予定です。

【期　　間】令和８年１０月１９日（月）～２９日（木）※　前後約１週間程度の準備・撤収期間を設定
※　夜間訓練を実施するとともに、空包を使用します。
【参加部隊】陸上自衛隊：約１４００名（第４師団、第２特科団）
海上自衛隊：佐世保地方総監部、第２２航空群、下対馬警備所、上対馬警備所
航空自衛隊：西部航空方面隊
米　　軍：米海軍

訓練予定場所

使用場所	訓練内容
海栗島分屯基地	協同基地警備訓練
上対馬警備所	
下対馬警備所	
対馬分遣隊	
佐世保基地	
大村航空基地	
崎辺分屯基地	
福江島分屯基地	
米海軍佐世保基地	共同基地警備訓練
前畑弾薬庫	
針尾弾薬庫	
赤崎貯油所	
庵崎貯油所	
横瀬貯油所	

※ □：日米共同で実施する場所

訓練イメージ

協同基地警備訓練